

地域計画

策定年月日	令和7年3月25日
更新年月日	令和8年7月31日 (1回目)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	浅川町 07504
地域名 (地域内農業集落名)	東大畑・畑田地区 (東大畑・畑田)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	47.76 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	47.76 ha
② 田の面積	41.95 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	5.81 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	4.37 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

水稲耕作者の高齢化が進行しており、後継者の確保・育成が課題である。離農も進み、担い手だけでは手が回らず、入り作により耕作されている状況がある。畑田地区においては中山間地域であり、圃場の区画が狭小・不整、給排水に課題を抱える条件不利地もある。耕作継続が困難な農地については、中山間組織等が主体となり保全管理が行われているが、離農により遊休農地が目立つようになり、農地の維持管理には苦慮しているところである。またイノシシ等の鳥獣被害があり、対策を講じる必要がある。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

今後は高齢化による離農で耕作できない農地が増えることが懸念される。認定農業者を中心とした持続可能な体制づくりと、農地の集約・集積を積極的に進める必要がある。地域コミュニティの活性化を図り、経験の有無を問わず労働力の確保に向けた取り組みを検討する。鳥獣被害については、行政支援でワナ仕掛捕獲等、目撃情報や被害情報があった際迅速に対応する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
地域内の認定農業者を中心に農地中間管理機構を活用し、農業を担う者への集積・集約化を基本として取り組む。耕作継続が困難な農地については、中山間組織等を主体として保全管理に努めていく。また、農事組合法人を立ち上げて耕作をするとの一案もあるが、担い手の高齢化により要検討の課題となっている。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	74.23	%	将来の目標とする集積率
			75 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
認定農業者等を中心に地区内の集積・集約化を進めるが、担い手の経営意向を考慮して取り組む。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
当面は現状維持を目標に認定農業者等を中心とした農業を担う者への集積を進めていく。地域内の農業従事者が減少していく現状においては、農業後継者の確保・育成に取り組みつつ、地域外の経営体への集積も並行して推進していく。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農業委員、農地利用最適化推進委員と調整し、離農により放出される農地や受け手の経営意向を把握するべく、農地中間管理機構の活用に向けて検討を進めていく。
(3)基盤整備事業への取組
用排水路が古く劣化していることから、暗渠排水整備について、多面的支払交付金の制度を活用し整備を検討する。農道等も補助事業を活用しながら維持管理に取り組む。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、行政及びJA等と連携し栽培技術の支援等、相談から定着まで切れ目なく取り組む。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地域内での農作業効率を高めるため、水稻の病害虫防除作業についてはJAに委託することとし、また田の畦畔の草刈り等については多面的支払交付金事業の活用のほか、他法人の活用も検討する。シルバー人材センターも活用し、労力確保する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①鳥獣被害に対する行政支援でワナ仕掛捕獲等、目撃情報や被害情報があった際迅速に対応する。
 ②浅川の優味米生産に取り組む(水稻の有機栽培に取り組む。)
 ③中山間地域でも活用可能な機器を精査し、農作業の省力化・効率化に向けてスマート農業機器の導入を検討する。ICT・AI技術を利用した儲かる農業を目指す。
 ⑦耕作継続が困難な所は、中山間・多面的制度を活用し、各組織等を中心に保全管理活動を行う。
 ⑧パイプハウスの導入など施設整備し、高収益な持続可能な体制を目指す。農業法人ができた際には作業効率を図る

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
				ha		ha	ha		
				ha		ha	ha		
				ha		ha	ha		
				ha		ha	ha		
				ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	0経営体		35.72 ha	0 ha		35.35 ha	0 ha		

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1		稲の刈り取りから乾燥調製までの処	水稻
2		水稻の苗作り	水稻

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	利用者	水稲	2.53 ha	ha	水稲	2.35 ha	ha	東大畑・畑田1	
2	利用者	水稲	1.36 ha	ha	水稲	1.36 ha	ha	東大畑・畑田2	
3	利用者	水稲	3.19 ha	ha	水稲	3.19 ha	ha	東大畑・畑田3	
4	認農	水稲	3.52 ha	ha	水稲	3.52 ha	ha	東大畑・畑田4	
5	認農	施設野菜+	1.55 ha	ha	施設野菜+	1.55 ha	ha	東大畑・畑田5	
6	利用者	水稲	0.97 ha	ha	水稲	0.97 ha	ha	東大畑・畑田6	
7	利用者	水稲	0.72 ha	ha	水稲	0.72 ha	ha	東大畑・畑田7	
8	利用者	水稲	0.1 ha	ha	水稲	0.1 ha	ha	東大畑・畑田8	
9	利用者	水稲	0.47 ha	ha	水稲	0.28 ha	ha	東大畑・畑田9	
10	利用者	水稲	0.56 ha	ha	水稲	0.56 ha	ha	東大畑・畑田10	
11	利用者	水稲	0.66 ha	ha	水稲	0.66 ha	ha	東大畑・畑田11	
12	認農	水稲	2.49 ha	ha	水稲	2.49 ha	ha	東大畑・畑田12	
13	利用者	水稲	0.45 ha	ha	水稲	0.45 ha	ha	東大畑・畑田13	
14	利用者	水稲	2.21 ha	ha	水稲	2.21 ha	ha	東大畑・畑田14	
15	利用者	水稲	0.5 ha	ha	水稲	0.5 ha	ha	東大畑・畑田15	
16	利用者	水稲	0.62 ha	ha	水稲	0.62 ha	ha	東大畑・畑田16	
17	認農	水稲+施設	2.9 ha	ha	水稲+施設	2.9 ha	ha	東大畑・畑田17	
18	利用者	水稲	0.52 ha	ha	水稲	0.52 ha	ha	東大畑・畑田18	
19	利用者	水稲	0.59 ha	ha	水稲	0.59 ha	ha	東大畑・畑田19	
20	利用者	水稲	1.3 ha	ha	水稲	1.3 ha	ha	東大畑・畑田20	
21	認農	水稲	7.17 ha	ha	水稲	7.17 ha	ha	東大畑・畑田21	
22	認農	肉用牛+水	0.7 ha	ha	肉用牛+水	0.7 ha	ha	東大畑・畑田22	
23	利用者	水稲	0.36 ha	ha	水稲	0.36 ha	ha	東大畑・畑田23	
24	利用者	水稲	0.28 ha	ha	水稲	0.28 ha	ha	東大畑・畑田24	
25			ha	ha		ha	ha		
26			ha	ha		ha	ha		
27			ha	ha		ha	ha		
28			ha	ha		ha	ha		
29			ha	ha		ha	ha		
30			ha	ha		ha	ha		
31			ha	ha		ha	ha		
32			ha	ha		ha	ha		
33			ha	ha		ha	ha		
34			ha	ha		ha	ha		
35			ha	ha		ha	ha		
36			ha	ha		ha	ha		
37			ha	ha		ha	ha		
38			ha	ha		ha	ha		
39			ha	ha		ha	ha		
40			ha	ha		ha	ha		
41			ha	ha		ha	ha		
42			ha	ha		ha	ha		
43			ha	ha		ha	ha		
44			ha	ha		ha	ha		
45			ha	ha		ha	ha		
46			ha	ha		ha	ha		
47			ha	ha		ha	ha		
48			ha	ha		ha	ha		
49			ha	ha		ha	ha		
50			ha	ha		ha	ha		